

令和4年度 川根中学校区地域包括支援センター事業実施計画書

実施方針		目 標	具体的な取り組み
必 須 項 目	高齢者を地域で支える体制づくり	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすことできるような体制を整えます。	協力事業者や民生委員等と顔の見える関係づくりに努め、課題を抱える高齢者の早期発見、情報の共有化を図る。 ①川根地区見守りネットワーク連絡会：年1回 ②民生委員と包括の情報交換会：年1回 ③民生委員児童委員協議会定例会：月1回
			商店や移動販売と連携し、移動困難者の生活支援拡充へ繋げる。 商店、移動販売業者との情報交換：随時
			しまとれの継続支援を行う。併せて健康管理を推進する。 ①継続支援9か所（開催日参加により健康管理の推進） ②移動困難者のための小規模しまとれ会の設置：月1回（3か所）
	地域住民が主体的に介護予防・健康管理に取り組めるよう支援します。	定期的な健康管理を行い、受診時や別居家族との情報共有ができる健康管理手帳の作成する。	医療機関と連携し健康管理手帳の作成 しまとれ・集会等にて健康管理の理解を進める 健康管理手帳の活用（介護サービス未利用者）：30名
		介護予防普及啓発講座を開催し、住民の介護予防の意識を高める。	介護予防普及啓発講座：年20回 内容：高齢者の病気、認知症予防、低栄養予防、熱中症・脱水予防、口腔ケア、感染症予防等
認知症施策の推進	認知症の理解を深めるための周知・啓発活動を行い、多世代で支え合う地域づくりを推進します。	様々な世代に認知症に対する正しい知識と理解を広げ、地域の担い手づくりに取り組む。	①認知症サポーター養成講座：年4回 ②認知症予防講座：年3回
		認知症の方を地域で支える体制・活動づくりをチームオレンジ、認知症キャラバンメイト、認知症サポーターと共にを行う。	①認知症キャラバンメイト連絡会：年1回 ②チームオレンジちゃのみ定例会：月1回
		認知症カフェや運営推進会議にて、認知症に関する相談支援や課題把握を行う。	駅前お茶のみ会：月1回 運営推進会議：年12回

令和4年度 川根中学校区地域包括支援センター事業実施計画書

資料4-6

	実施方針	目 標	具体的な取り組み
選 択 項 目	多職種、他機関とのネットワーク構築	高齢者支援にかかわる専門職同士の相互理解、連携体制を構築します。	相互に抱える疑問や課題を集約し、専門的な意見交換を有意義に行う場を企画・開催する。 川根地区医療・介護多職種連携連絡会：年3回 テーマ：①介護に関すること、②薬に関すること、③医療に関すること 参加団体：医療機関(4)、調剤薬局(3)、製薬会社(1)、整骨院治療院(2)、居宅介護支援事業所(3)、通所介護事業所(4)、訪問介護事業所(1)、短期入所介護事業所(1)、特養(1)、小規模多機能居宅介護(1)、グループホーム(1)
	介護支援専門員に対する連携体制づくりと実践力向上支援	介護支援専門員との連携強化、自立支援・重度化防止に向けたケアマネジメントが行えるよう支援します。	地区の介護支援専門員を対象とした連絡会を企画・開催する。 金谷・川根地区ケアマネ連絡会：年3回 個別ケース会議：随時
	センターの認知度を高めるための周知活動	窓口移転に伴う不安の解消かできるよう、積極的に地域へ出向き周知・認知活動を行います。	高齢者あんしんセンターのチラシを公共施設等に設置、各種団体や集会を通じ配布する。 川根小学校の児童に作成してもらった高齢者あんしんセンターのPRポスターを幅広い年代の方に見てもらえる場所に掲示する。 集会所、居場所、高齢者学級、しまとれ実施団体、ボランティア団体等15か所へ設置・配布 3月末までに集会所、商店、金融機関、医療機関等10か所に掲示